

＜成果①＞
研究活動を通じた新たな知見の獲得・蓄積

令和6年度 発展型総合事業
「アジア・大洋州地域における安全保障上のリスクの実態」



「伝統的安全保障リスク」研究会

1年目は台湾有事が単独で発生する前提で政策シミュレーションを実施したが、中国とロシア、ロシアと北朝鮮の戦略的協力関係が深化する中で、**有事が同時に発生する複合リスク**に注目した。最も懸念される台湾有事と朝鮮半島有事が同時発生する可能性については、北朝鮮が韓国との統一を放棄したことから、中国が台湾侵攻に合わせて北朝鮮に韓国への侵攻を要請しても、北朝鮮はこれを受け入れないと考えられる。一方、法に基づく国際秩序の維持や同盟関係の強化に関心を払わない**米トランプ政権が復帰**すれば、ロシアがウクライナに対する攻撃を加速する中、**中国が台湾への侵攻が成功すると誤認**する可能性が指摘できる。

「朝鮮半島情勢とリスク（北朝鮮核・ミサイルリスクおよび韓国内政・外交）」研究会（※2つの「部会」で構成）

北朝鮮の「**南北敵対的2国家論**」の下での南北関係の遮断の影響が、北朝鮮においては対口接近と核戦力の増強、韓国では日米韓協力への傾斜と核抑止の強化という「相互作用」として表面化していることを検証。また北朝鮮は核・ミサイルのみならず全般的軍備強化（軍の近代化）を優先しつつ当地の安定性を確保するための可視的経済成果の導出に苦慮しており、また韓国は対日関係を重視する尹政権下でも日韓協力の制度化に足踏みしており、第2次トランプ政権で米国の求心力としての役割が変化する中、内政における政治対立の焦点とされやすい対日政策に大きな変化が生じにくくなっているとの分析を行った。さらに2024年末の韓国「非常戒厳」の検討も行った（両部会で**政策提言**を作成）。

「中国と海洋権益・海洋秩序」研究会

1年目に引き続き、中国の官軍民のアクターによって構築が進められつつある**海洋立体観測網**などについて、**中国の関連政策や軍民融合戦略、衛星技術などの観点から現状把握と分析**を行った。また、今年度は特に中国の軍民融合の最新の展開について分析し、実際の問題点として**民営企業の参入ハードルの高さ**を指摘した。中国のスマート港湾に関する構想と計画、その実際の進捗状況なども評価を行い、**湾港整備における軍民融合の実態は不透明**であることも指摘した。さらに、世界海事大学所属の研究者を外務講師として招き、**海洋での状況把握を進める際の困難さ**について理解を深めた。

【その他】研究会の構成変更（事業効率向上のための追加措置）

- ・「【総合事業】日本周辺の主要国の国内要因が国際秩序の変容にもたらす影響」から「韓国関連研究会」を分離し、本事業内に統合（「北朝鮮核・ミサイルリスク部会」と「韓国内政・外交部会」として一体運用）。また本事業から「新領域リスク（宇宙・情報空間等）研究会」を分離して「【総合事業】経済安全保障の観点からの我が国の強みや脆弱性を踏まえた、望ましい国際経済環境のあり方」に統合・編入。
- ・南北双方の相互作用を視野に入れて朝鮮半島情勢を分析することが可能に。また本事業・他事業内の他研究会との議論も深化し、ロシアから見た露朝接近、台湾有事と朝鮮半島有事の「連動」の可能性等について横断的な議論が実現した。

⇒成果を集約し、展望・政策提言集化した『戦略アウトルック』を発表

《成果②》
シンクタンク・有識者
との連携（発信を含む）

令和6年度 発展型総合事業

「アジア・大洋州地域における安全保障上のリスクの実態」



CNASとの「インド太平洋地域におけるサイバーセキュリティ」公開ウェビナー



日独1.5トラック安全保障対話
公開シンポジウム



台北にて台湾国策研究院文教
基金会と日台戦略対話を実施

Round Table with Ukrainian Prism

September 19, 2024
14:00-16:00

ウクライナ・プリズム
との共催で「ロシア・
ウクライナ戦争の世界的
影響」と題するラウ
ンドテーブルを実施



ソウルにて韓国・国家安保戦略研
究院（INSS）との協議を実施



2024年11月6日TBS「Nスタ解説」
出演



2024年11月18日「news zero」出演



第6回東京グローバル・ダイアログ
（TGD6）の開催：
内外有識者と「グローバル・レジ
エンスへの挑戦」をテーマに議論し、
日本の立場をインプット
（2025年1月29-30日開催）

インド太平洋地域におけるサイバーセ
キュリティ、欧州議会選挙について公
開ウェビナーを開催。またドイツとの
間でトラック1.5形式の安全保障対話
では公開セッションも実施

米国、英国、EU、中国、韓国、
台湾、、インド、フランス、
ノルウェー、豪州、タイ、ベ
トナム等のシンクタンク・専
門家との協議を開催

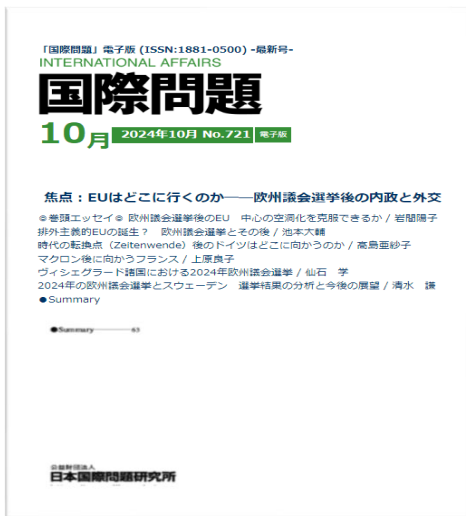
メディア出演・寄稿を通じ
た対外発信：急変する国際
情勢について国内・海外の
メディアを通じて数多く対
外発信した

海外の主要シンクタンク等との意見交換を通じたネットワークの継続・強化

海外主要シンクタンク・有識者との活発な意見交換・ウェビナー開催により
グローバルな知的ネットワークの構築と対外発信

《成果③》
内外への積極的な
発信

令和6年度 発展型総合事業
「アジア・大洋州地域における安全保障上のリスクの実態」



『国際問題』
米国主導の国際秩序の変容に関する特集など、国際情勢の動向についてタイムリーに発信



「研究レポート」
欧州議会選挙などを題材に、専門的な出来事を分かりやすさを重視する形で発信（一部英訳も発信）



「戦略アウトルック2025」
「国際秩序はレジリエンスを取り戻せるか：世界と日本の選択」をテーマに国際情勢を展望し、日本として果たすべき役割や対応策について提言（英訳版も発信）



「国問研戦略コメント」
韓国国会議員選挙（2024年4月）などについて、考察と分析・日本への影響等をタイムリーに発信（一部は英訳も発信）

専門性の高い最新情勢の分析・提言を日英両言語でタイムリーに、分かりやすく発信